

低天端で越波を抑制、景観に配慮した海岸に

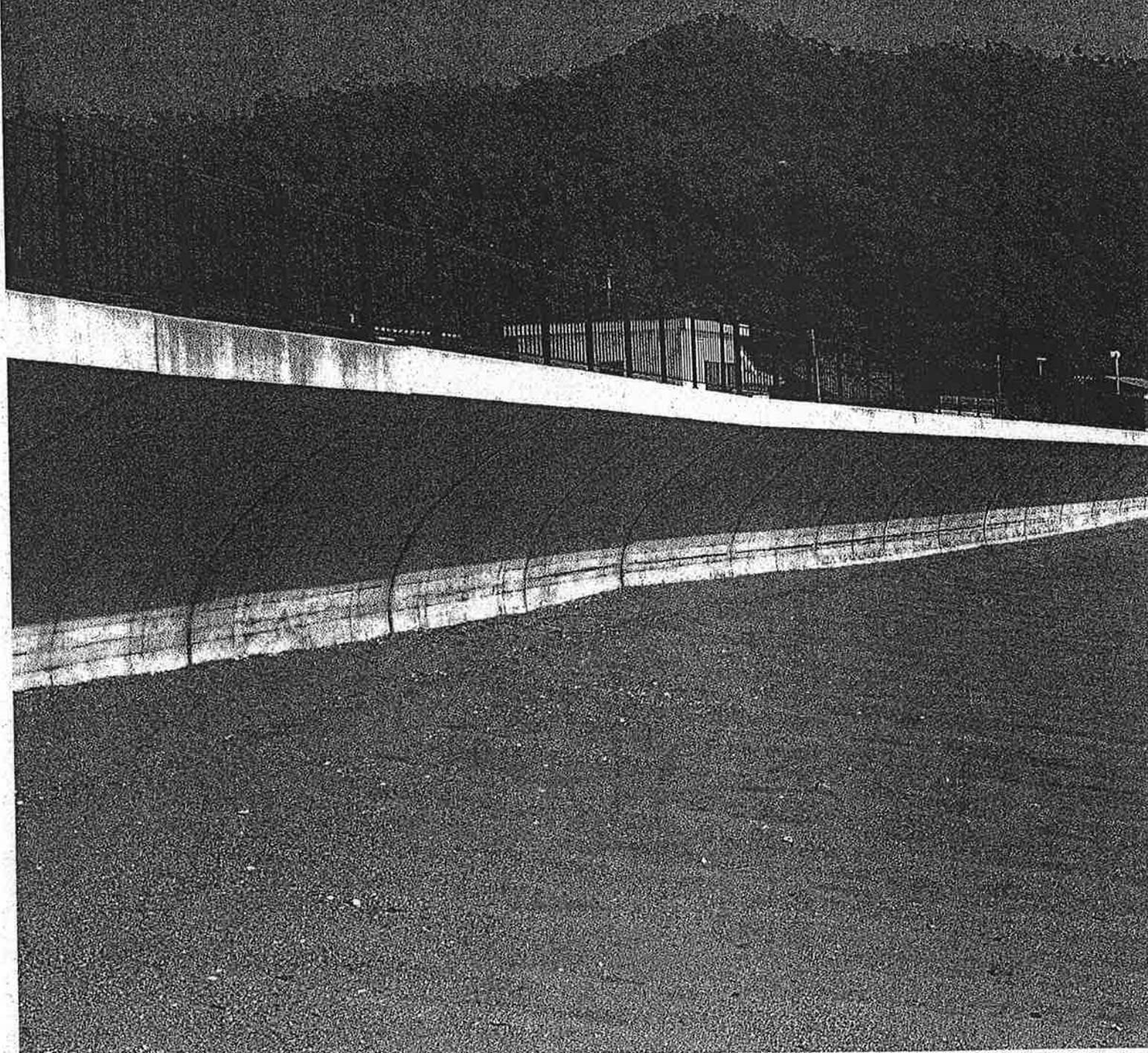
フレア護岸TM

(プレキャスト大型波返しブロック)

(一財)土木研究センター 建技審証第1207号

NETIS登録番号: OK-150002-A

安全で美しく快適な海岸の創造が
神戸製鋼の願いです



Contents

フレア護岸の開発経緯	2
フレア護岸の特長	3-4
上部フレア護岸(NETIS登録番号:OK-150002-A)	5-6
研究開発	7-8
上部フレア護岸の製作・施工概要	9-10
フレア護岸を用いた海岸整備イメージ	11-12
フレア護岸 実績および概要	13-14

構造形式：フレア護岸(従来式/一体型)
 発注主：広島県呉市(旧倉橋町)
 整備箇所：広島県呉市倉橋島
 整備延長：400m

1 フレア護岸の開発経緯

わが国の海岸は、台風や低気圧の影響で発生する高潮、波浪や越波等により海岸背後の人命・資産が被害を受けております。

また、沿岸部の道路では護岸の一部崩壊や全面通行止めとなり、迂回路の確保が困難な状況下で社会的な損失も発生しています。

これまで、海岸保全施設の整備は災害からの海岸の防護に加え、平成11年に「海岸法」が改正され、海岸環境の整備保全および公衆の海岸の適正な利用の確保を図り、これらが調和するよう、総合的に海岸の保全を推進することが求められています。また、地域の特性を生かした地域とともに歩む海岸づくりを目指すことが求められています。

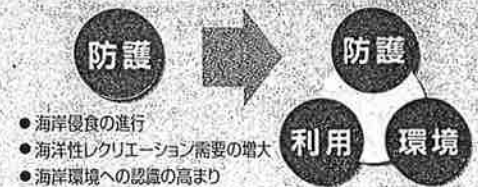
フレア護岸は、沿岸地域の人家、重要施設、道路への安全を確保するとともに護岸天端高さを低くすることができるため、海岸の美しい景観が眺望でき、海岸の原型(砂浜、リーフ)を保存することが可能となり、快適な海岸利用ができます。自然災害から生活基盤を【防護】し、親水性【利用】を維持し、自然【環境】をまもるためにフレア護岸が開発されました。



従来の護岸形式での被害状況

昭和31年 1956
海岸法の制定

平成11年 1999
海岸法の一部改正



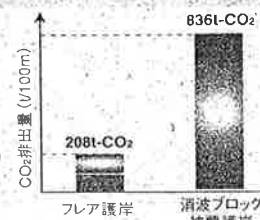
CO₂排出の縮減

フレア護岸は鋼・コンクリートのハイブリッド構造のため、従来の護岸と比べてCO₂排出量が4分の1となり、地球環境にやさしい防波護岸といえます。

CO₂排出原単位

材 料	原単位 (kg/m ³)
鋼 材	11,830.0
コンクリート	311.3

※CO₂排出原単位は、「建設施工における地球温暖化対策の手引き」(社)日本建設機械化協会、平成15年7月を使用。



2 フレア護岸の特長

特長
1

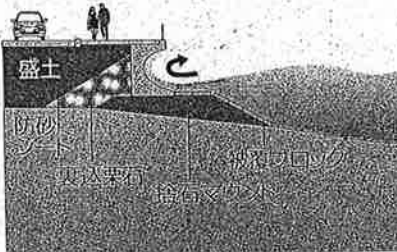
低い護岸天端で越波を抑制します

直立護岸・消波被覆護岸よりも越波流量を低減します
護岸高上げを解消し、背後施設からの眺望を確保します

従来護岸



フレア護岸



波返し状況



▲大分10号別大拡幅(杭式部)

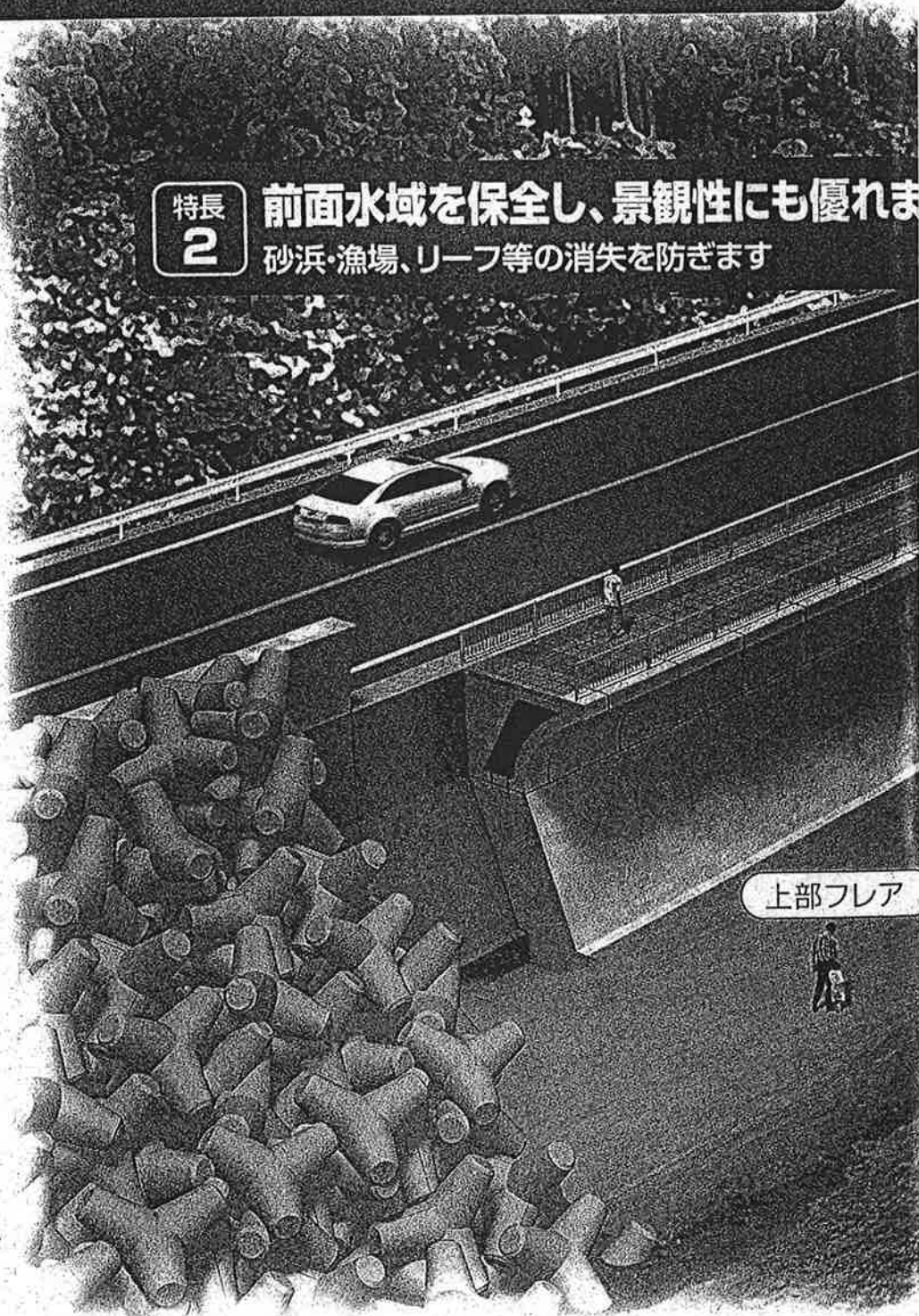


▲別府港海岸(北浜地区2)

特長
2

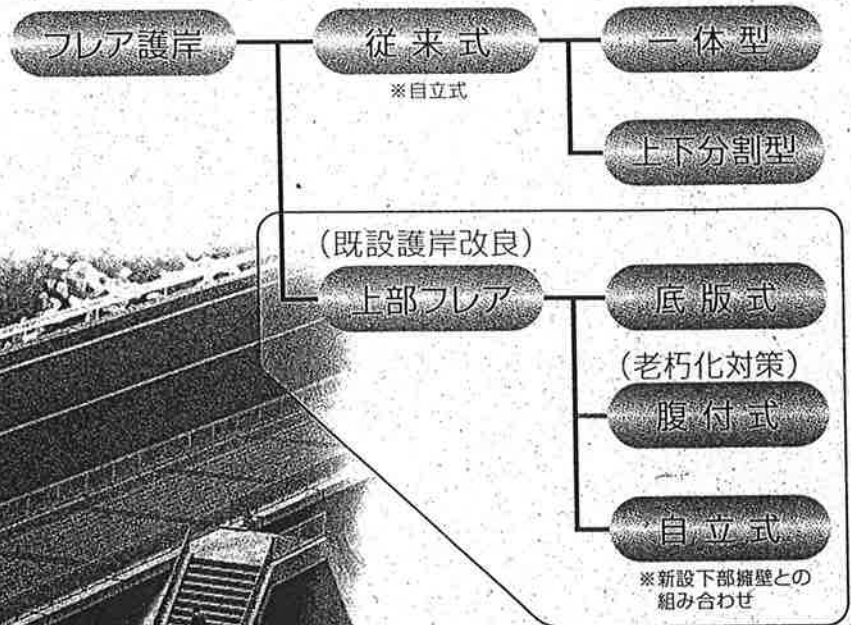
前面水域を保全し、景観性にも優れます

砂浜・漁場、リーフ等の消失を防ぎます



上部フレア

製品ラインナップ



特長
3

天端部を有効に利用できます
歩道・道路拡幅、メンテナンス道路として

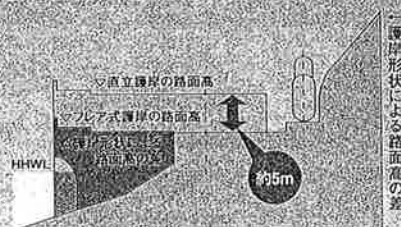
従来式

特長
4

ハイブリッド構造を採用
ブロックの軽量化により現地施工を容易に
粘り強い構造で外力に抵抗します

道路事業におけるコスト削減例

護岸本体を直立護岸と比較すると、天端高が低くできることから背面の土量を低減できるため、別大道路では、従来に比べて約20%のコストダウンを図ることができました。(約20億円のコスト削減)



3 上部フレア護岸 (NETIS登録番号:OK-150002-A)

上部フレア護岸整備事例 山形県鶴岡市(国道7号)
 事業主:東北地方整備局 酒田河川国道事務所



上部フレア護岸の特長

上部フレア護岸は、既設護岸を活かした越波・老朽化対策への適用を目的として開発し、従来からの基本的な特長に加えて以下の特長を有します。

1 従来式に比べてブロックの小型化を実現しました。

工費を削減
(ブロック高さによる規格化)

書後からの施工が容易
×陸上施工も可能

護岸前面を埋め戻す
整備が可能

2 鋼殻フレームを利用した周辺構造への接合が容易です。

3 既存消波ブロックと組み合わせた対策も可能です。

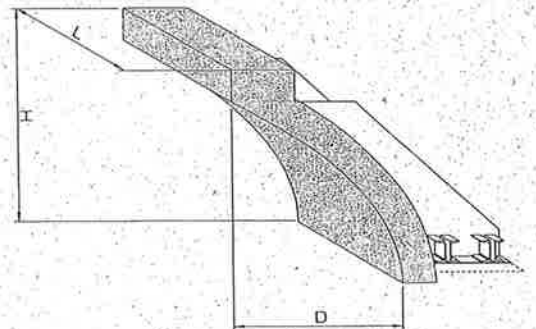
ブロックタイプおよび寸法規格

TYPE	外形寸法(mm)			重量 (ton) (W)
	製品高 (H)	奥行 (D)	長さ (L)	
1.0	1,000	763	1,990	1.9
1.5	1,500	1,145	1,990	3.8
2.0	2,000	1,622	1,990	5.0
2.5	2,500	2,099	1,990	6.1
3.0	3,000	2,576	1,990	7.1

※本製品は、500mm毎で製品高を規格化しています
 ※ブロック長および重量は現場条件に合わせて調整可能です

【H=1.0mタイプについて】

波が比較的穏やかな低波浪域での波力に応じた構造として簡素化(ブロックの軽量化)を図り、経済性と施工性を大幅に向上させたタイプになります。



上部フレア護岸 ブロック設置例

底版式	腹付式	自立式
<p>既設護岸上への設置(機能面の老朽化対策)</p>	<p>既設護岸前面へ腹付した新設擁壁上に設置</p>	<p>前出した新設下部擁壁上に設置</p>

他工法との工費比較例 ※弊社試算によります

【H=2.0mタイプ 比較例】

形式	消波被覆護岸	上部フレア護岸	
構造	新設腹付擁壁(高上げ)+消波ブロック	腹付式	底版式
断面形状			
天端高	+6.50	+6.00	+6.00
工費比率	1.00 (直工費71万円/m)	0.92 (直工費66万円/m)	0.90 (直工費64万円/m)

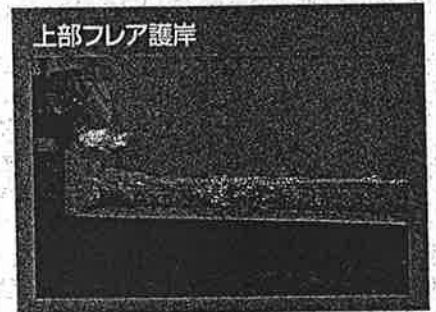
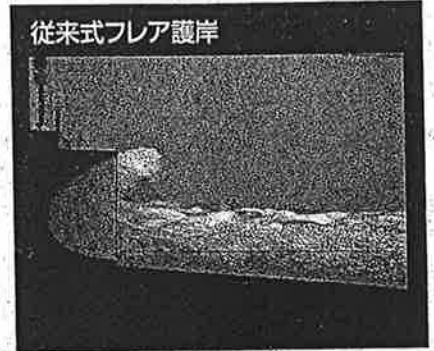
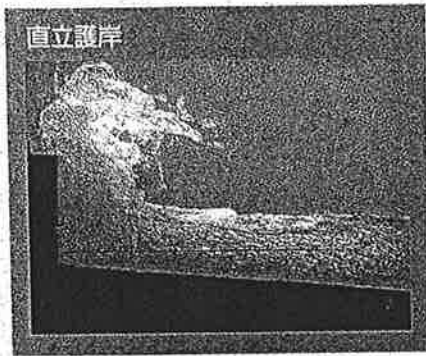
【H=1.0mタイプ 比較例】

形式	消波被覆護岸	上部フレア護岸	
構造	既設護岸+消波ブロック	腹付式	底版式
断面形状			
天端高	+6.40	+6.20	+6.20
工費比率	1.00 (直工費40万円/m)	0.95 (直工費38万円/m)	0.78 (直工費31万円/m)

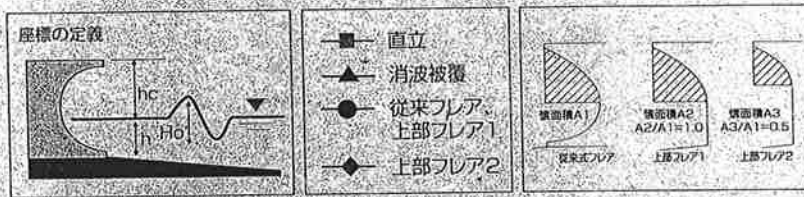
4 研究開発

水理模型実験

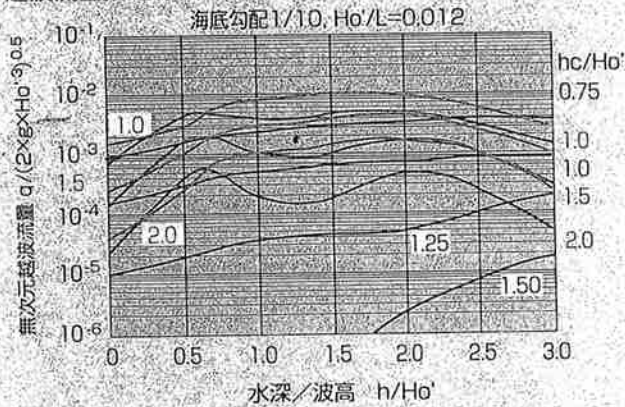
2次元吸収制御式造波水槽(長さ30m、高さ1.2m、幅0.6m)を用いて所定の波(不規則波)を護岸モデルに当てることにより、越波量・反射率等を検証することが可能です。



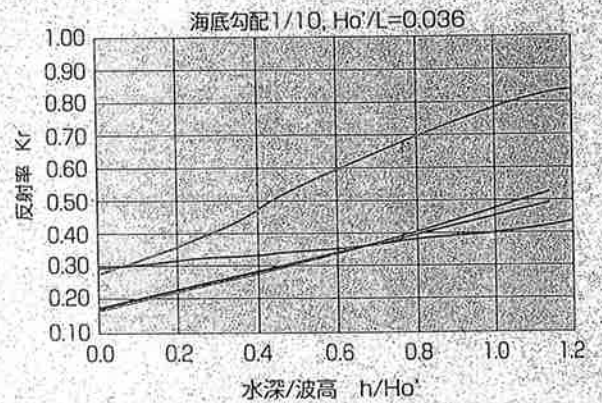
フレア護岸の水理特性



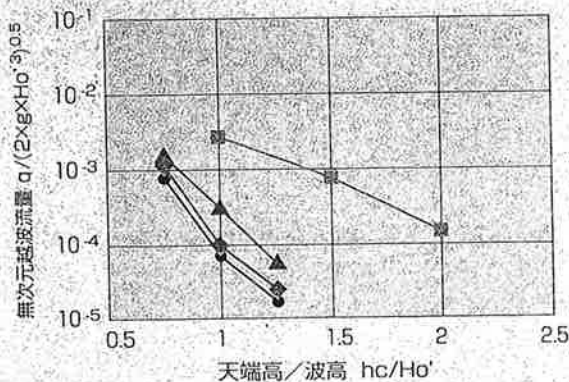
●越波流量推定線図



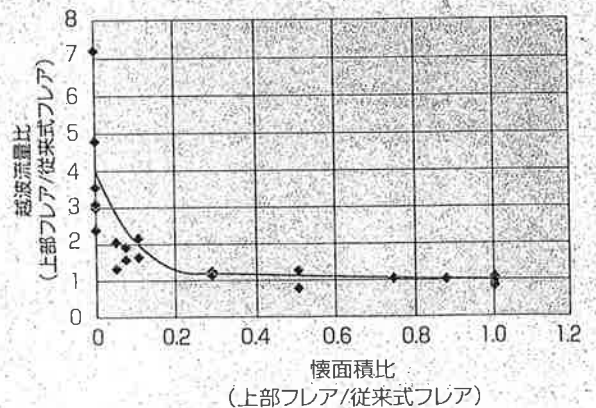
●平均反射率



●越波流量比較



●上部フレア護岸の横面積比による越波流量の変化

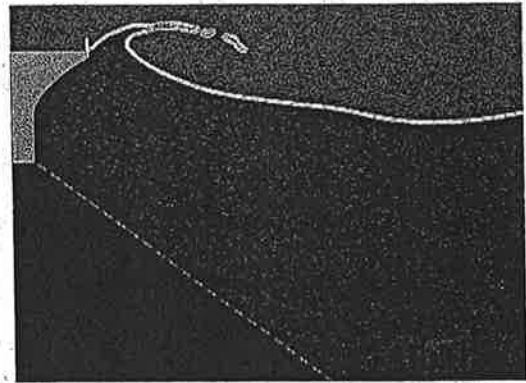
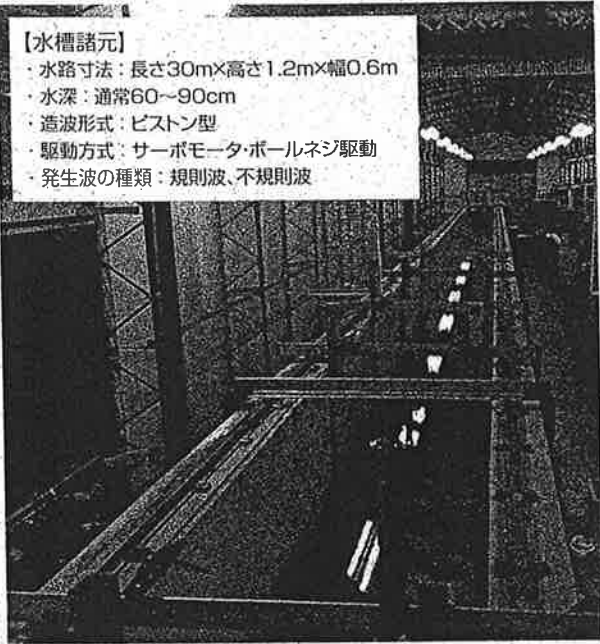


シミュレーション技術

●水槽実験施設

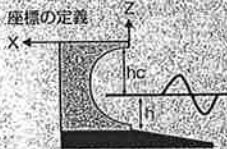
【水槽諸元】

- ・水路寸法：長さ30m×高さ1.2m×幅0.6m
- ・水深：通常60~90cm
- ・造波形式：ピストン型
- ・駆動方式：サーボモータ・ボールネジ駆動
- ・発生波の種類：規則波、不規則波

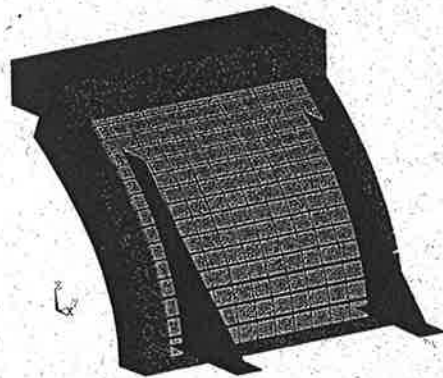
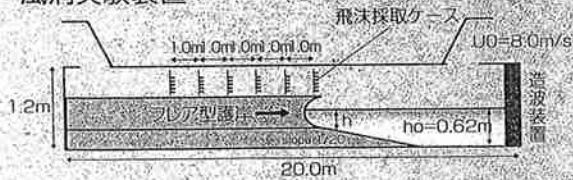


波浪シミュレーション

飛沫輸送特性

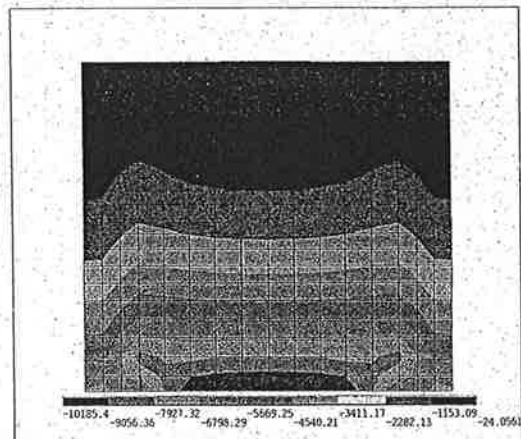
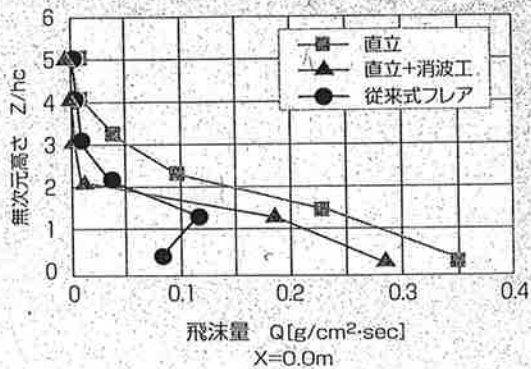


風洞実験装置



解析モデル図

●飛沫輸送量分布



モーメント分布図

5 上部フレア護岸の製作・施工概要

製作・施工ステップ

現地施工ステップ

準備工



下部構造施工
(接合アンカーセットを含む)



フレアブロック搬入



フレアブロック据付

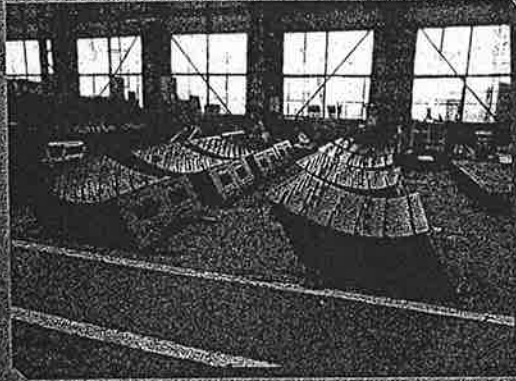


被覆コンクリート施工



完成

① 鋼殻製作



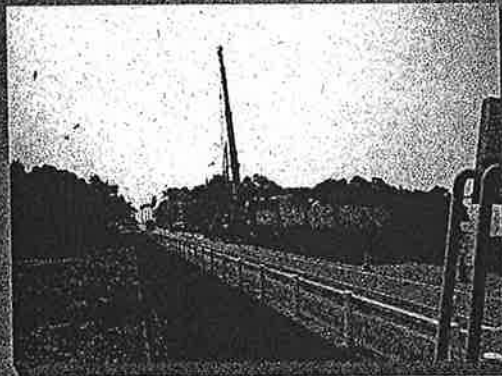
② ブロック製作



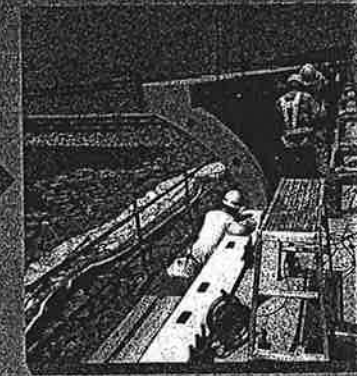
コンクリート二次製品メーカー

- ブロック製作に必要な諸条件の検討・製作技術等を活かすメーカーと連携

⑤ 現地搬入



⑥ ブロック据付



接合アンカーに固定した時点で抵抗可能

一車線規制でのブロック据付可能
(製品サイズ、形状)

製作体制

- 材料購入から検査まで一貫した製作体制の下、品質のばらつきを抑制し高品質で安定した製品を供給します。
- 天候の影響が少ない屋内製作、養生等の効果を踏まえた早期脱型により製作効率を向上させます。

神戸製鋼所(開発・設計・製作管理)

鋼殻製作工場
鋼殻フレーム製作

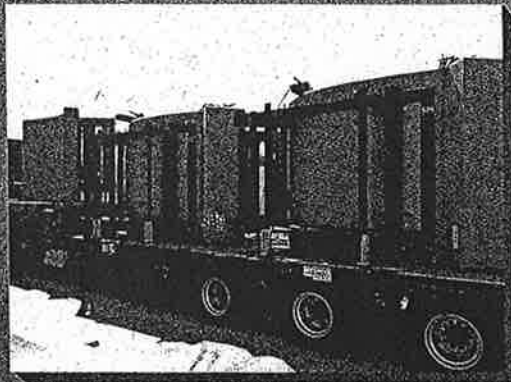
コンクリート二次製品工場
ブロック製作

製作体制イメージ

③ ブロック完成



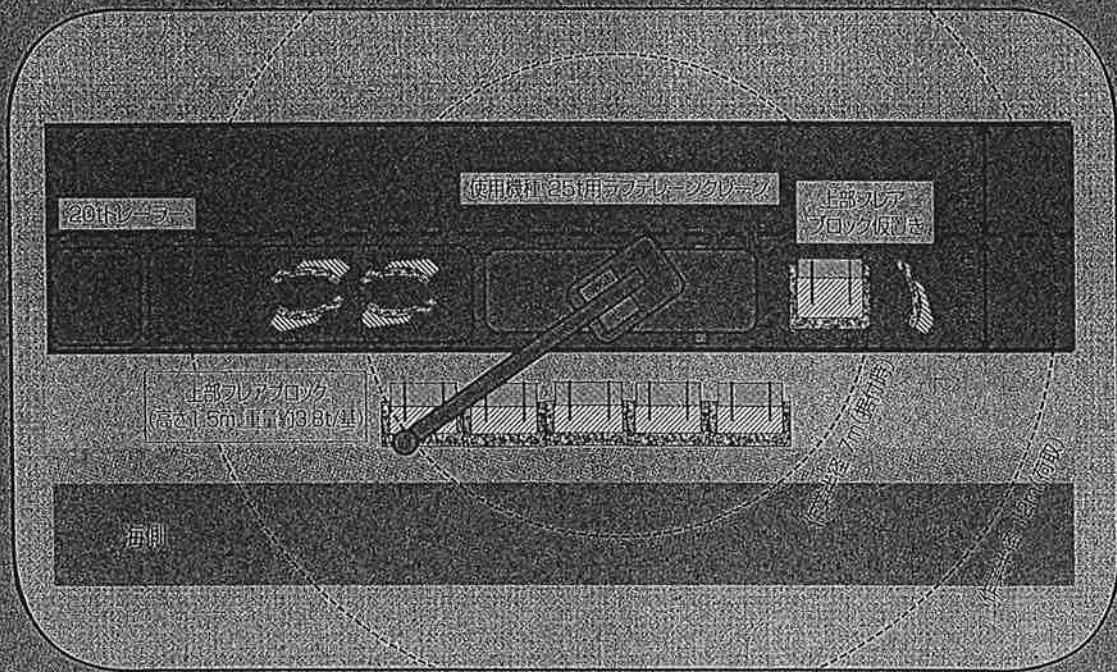
④ ブロック輸送



のタイヤアップ
調達、設備能力
アップします



施工時外力に
耐える
性能
(真構成による)

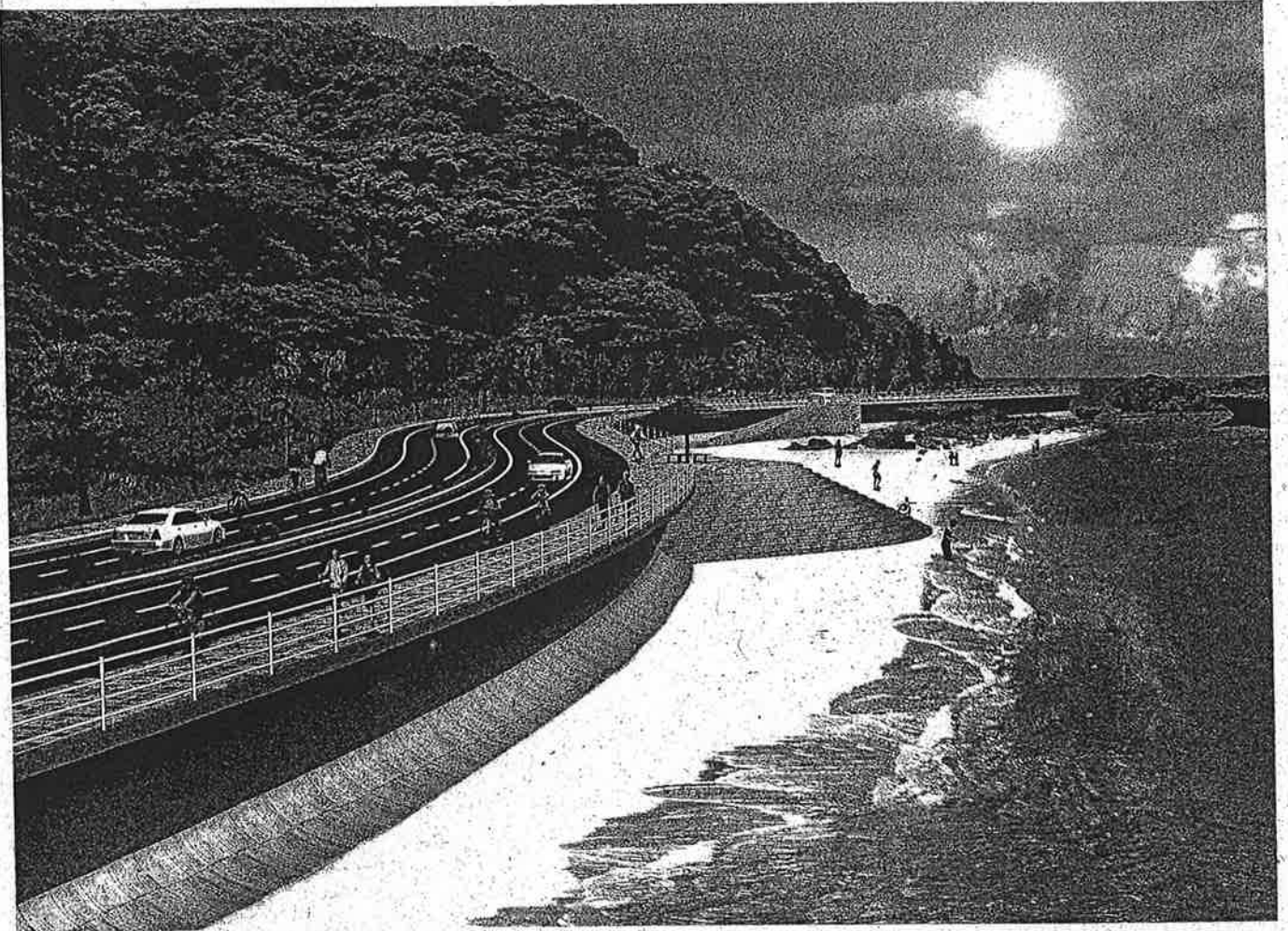


標準製作工程

		月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
製作工程	鋼材手配		●	→										
	鋼殻製作				●	→	30基/月	→						
	ブロック製作				●	→	30基/月	→			※出荷はσ14強度確認後とします			
	製品出荷				●	→	初回出荷時期: 材料手配~4.5ヶ月後		→					

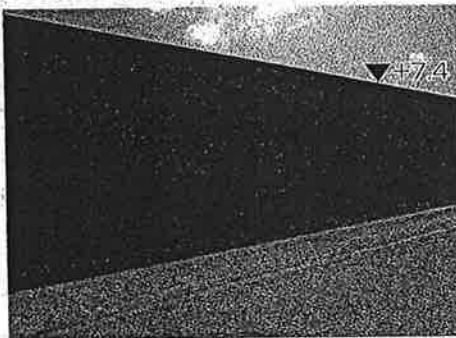
6 フレア護岸を用いた海岸整備イメージ

景観に配慮した整備イメージ ①

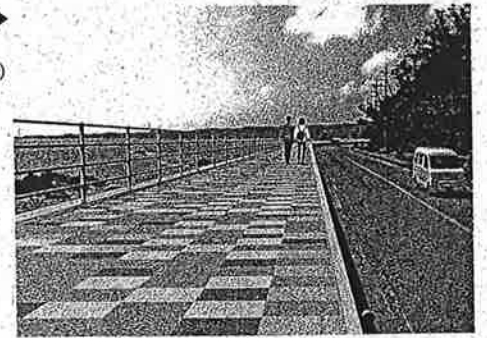


走行車両からの眺望イメージ

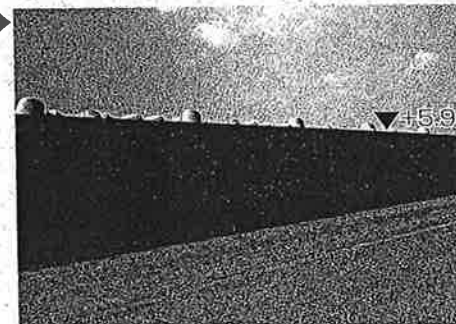
直立護岸▶



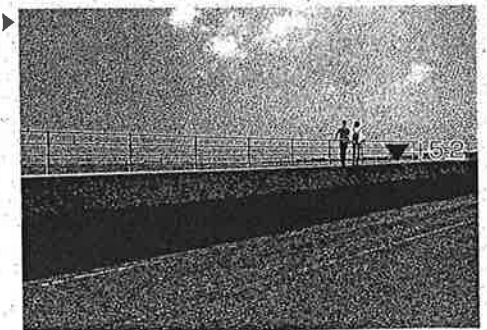
フレア護岸▶
(天端からの
眺望イメージ)



消波被覆護岸▶



フレア護岸▶



上部フレア護岸による護岸改良イメージ



◀改良前

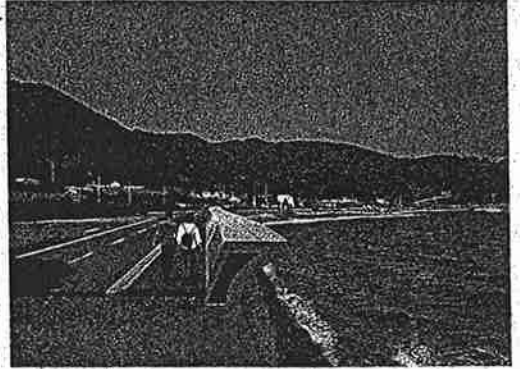


改良前▶

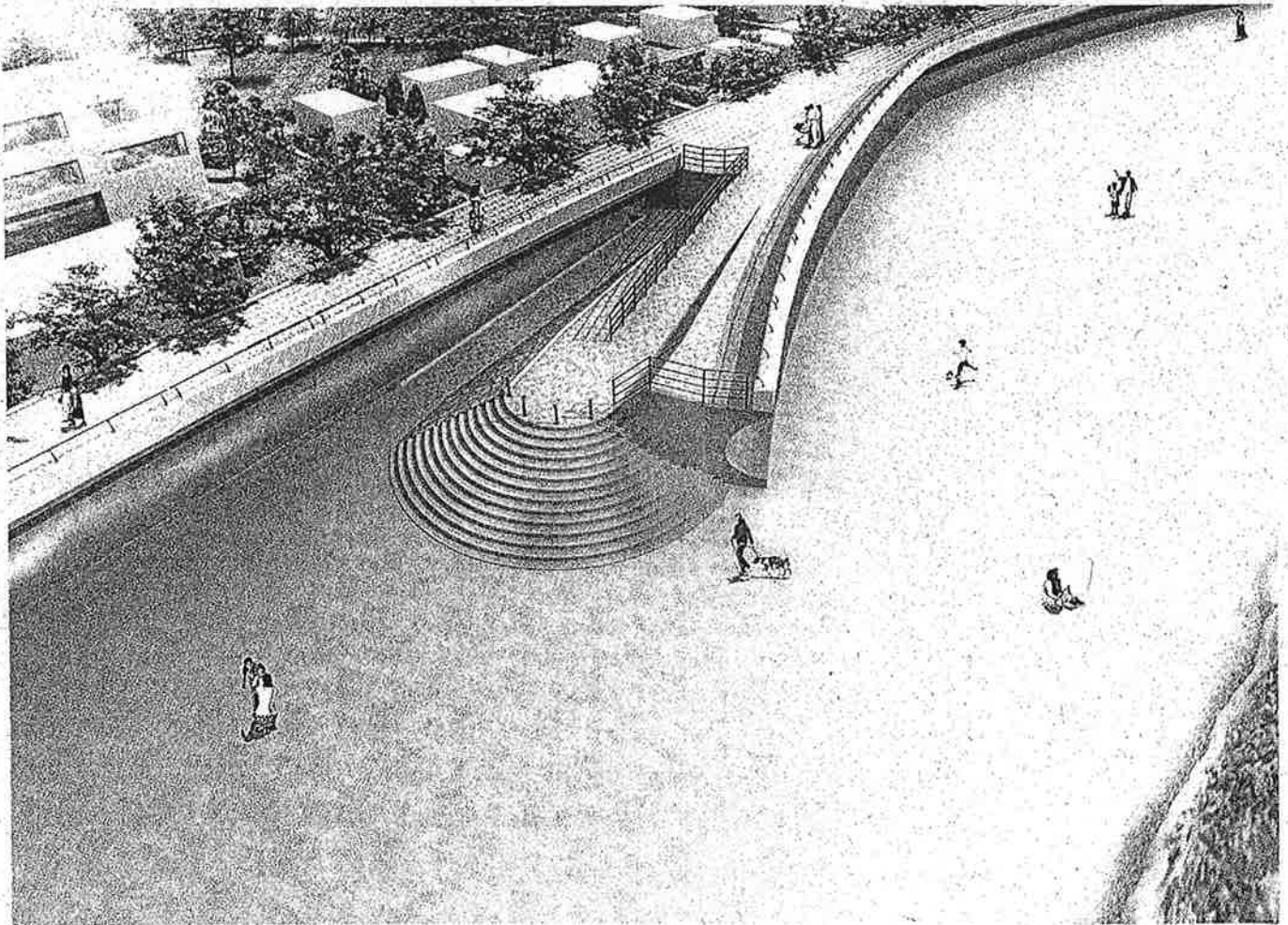
改良後▶



改良後▶

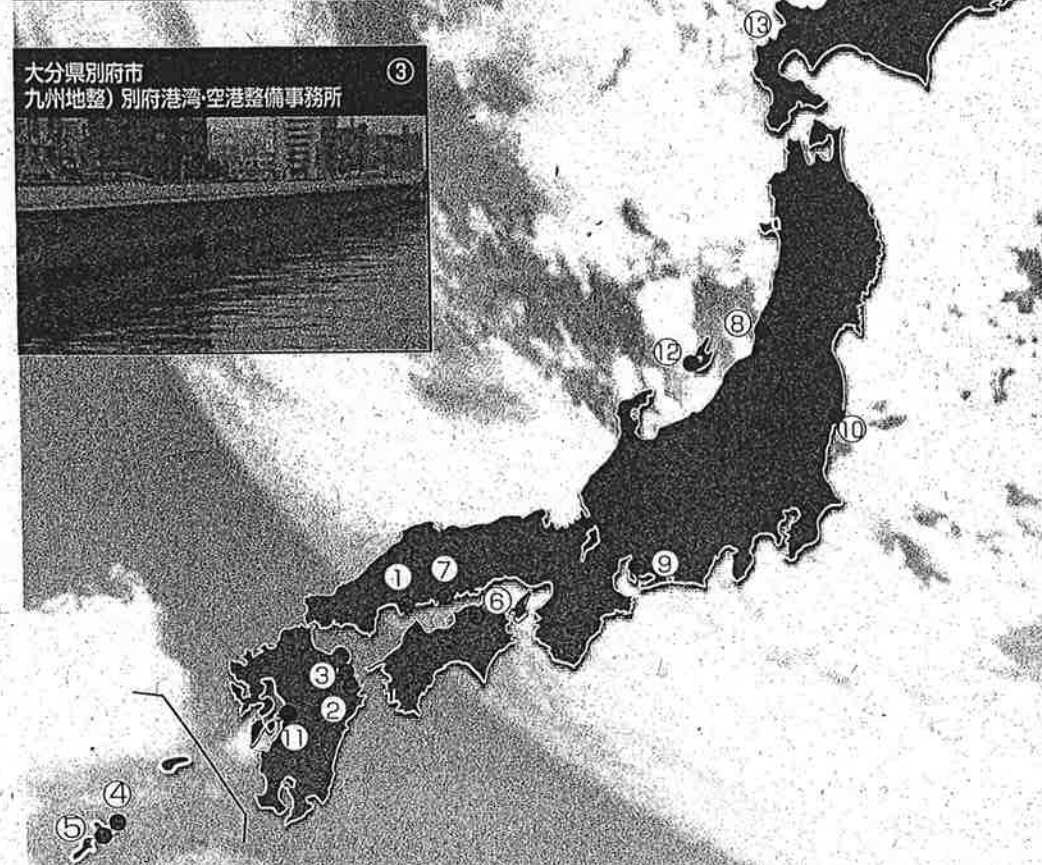
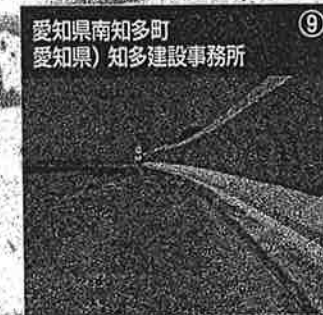
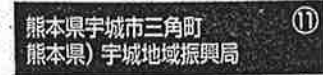
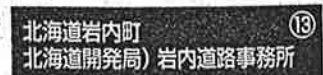


景観に配慮した整備イメージ ②



7 フレア護岸 実績および概要

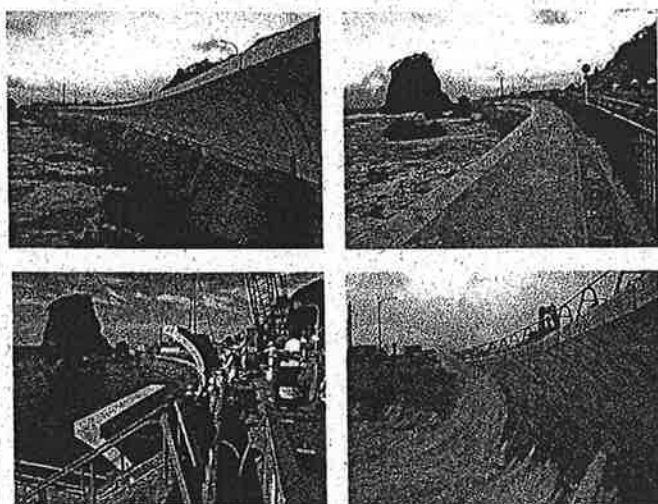
- 従来式
- 上部フレア



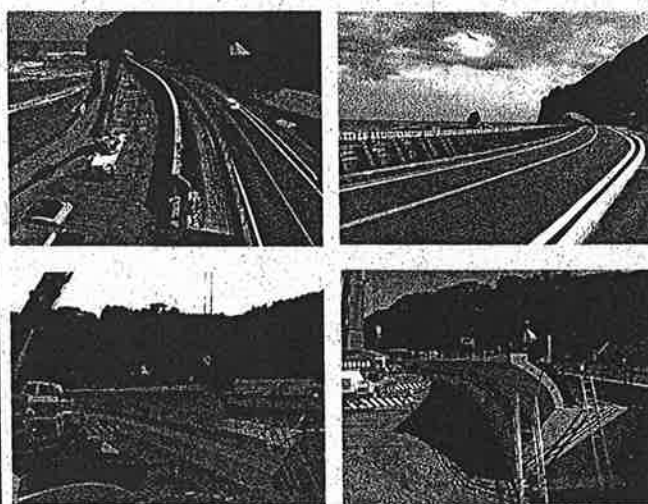
(平成29年10月現在)

上部フレア護岸

構造形式 : 上部フレア護岸(底版式) ⑧
 H2.5m, H2.0m
発注主 : 東北地方整備局 酒田河川国道事務所
案件名 : 国道7号 温海地区
整備箇所 : 山形県鶴岡市
整備延長 : 820m
完成年月 : 平成27年3月
施工方法 : 陸上据付(陸上輸送)

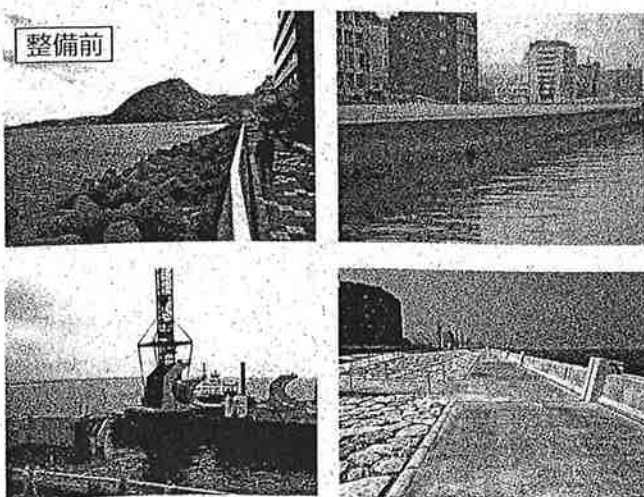


構造形式 : 上部フレア護岸(自立式) ⑩
 H2.0m
発注主 : 東北地方整備局 磐城国道事務所
案件名 : 国道6号 江之網地区
整備箇所 : 福島県いわき市
整備延長 : 170m
完成年月 : 平成29年度完成予定(ブロック設置完了)
施工方法 : 陸上据付(陸上輸送)

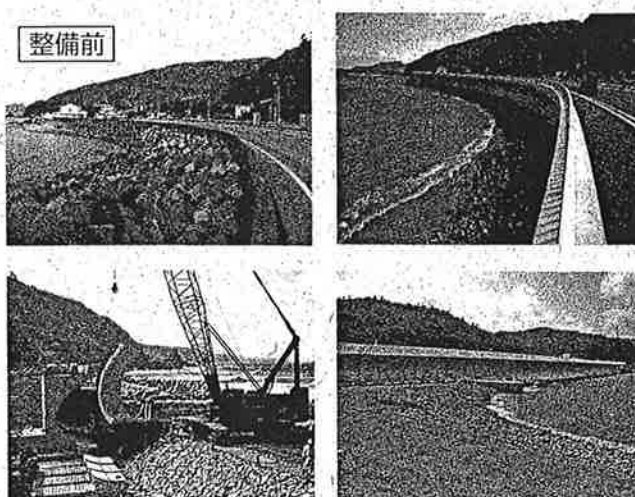


フレア護岸(従来式)

構造形式 : フレア護岸(従来式/一体型) ③
発注主 : 九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所
案件名 : 別府港海岸(北浜地区2)
整備箇所 : 大分県別府市
整備延長 : 400m
完成年月 : 平成30年度完成予定(ブロック設置完了)
施工方法 : 海上据付(海上輸送)



構造形式 : フレア護岸(従来式/上下分割型) ④⑤
発注主 : 沖縄総合事務局 北部国道事務所
案件名 : 国道58号 宇嘉、佐手地区
整備箇所 : 沖縄県国頭郡国頭村
整備延長 : 510m
完成年月 : 平成25年7月
施工方法 : 陸上据付(陸上輸送)



建設技術審査証明書

建技審証第1207号

技術名称 防波護岸
「フレア護岸」

（開発の趣旨）

一般に、護岸としては直立型や押斜型が多用されているが、消波のために異形ブロックなどによる消波工が前面に設置されることが多い。このため、護岸の越波阻止機能を高める場合には、天端高を高めるか、消波工の規模を増やすこととなり、結果的に護岸前面の砂浜やリーフの消失面積が大きくなる。さらに天端高が高くなると、背設施から海の眺望が失われるなど、景観上の問題も発生する。また、通常の護岸形式で歩道や道路を越える場合には、護岸が必要になることもある。そこで、直立護岸より高い越波阻止性能を有し、前面の砂浜やリーフを確保できることに加え、景観性に優れ、天端部を歩道や道路幅員に利用できる防波護岸「フレア護岸」を開発した。

（開発の目標）

「フレア護岸」の開発目標は次の通りである。

- (1) 越波阻止性能
直立護岸より高い越波阻止性能を有すること。
- (2) 反射率低減性能
直立護岸より波の反射率が低いこと。

一般財団法人土木研究センターの建設技術審査証明事業実施要領に基づき、依頼のあった標記の技術について下記のとおり証明する。

平成24年12月3日



記

1. 審査証明の結果

上記の開発の趣旨、開発の目標に照らし合わせた結果、「フレア護岸」は以下の性能を有することが確認された。

- (1) 越波阻止性能
水理模型実験により、直立護岸と比較して越波流量を25%以上低減することが確認された。
- (2) 反射率低減性能
水理模型実験により、直立護岸と比較して波の反射率を30%以上低減することが確認された。

2. 審査証明の前提

- (1) 本審査証明は、依頼者から提供された試験データ等の資料を基に審査し、確認したものである。
- (2) 「フレア護岸」は、適切な品質・施工管理のもとに、設計・製作・施工されることを前提とする。

3. 審査証明の範囲

- ①設計水位 設計水位がフレア形の形状部分に含まれること
- ②波形勾配 $0.012 \leq H_o / L_o \leq 0.036$
- ③水深/換算沖波高 $0.5 \leq h/H_o \leq 2.5$ (越波阻止性能)
- $0.5 \leq h/H_o \leq 1.5$ (反射率低減性能)
- ④天端高/換算沖波高 $0.75 \leq h_c/H_o \leq 2.0$
- ⑤海底勾配 1/10～1/30

4. 審査証明の呼称 建設技術審査証明報告書

5. 審査証明の有効期限 平成29年12月2日

6. 審査証明の依頼者 株式会社 神戸製鋼所
所在地：東京都品川区北品川5丁目9-12

フレア護岸 は、(一財)土木研究センターより、越波阻止性能、反射率低減性能について、建設技術審査証明(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)(建技審証第1207号)を交付されました。

【その他の技術認証・表彰】

- 国土交通省NETIS登録技術(登録番号:OK-150002-A/平成27年)
- 全建賞(一般国道10号別大拡幅事業/平成25年)
- ジャパンレゾリエンス・アワード2016(最優秀レゾリエンス賞/平成28年)

株式会社 神戸製鋼所

エンジニアリング事業部門

神戸本社
鉄構・砂防部
東京本社
鉄構・砂防部

Tel (078) 261-7813 Fax (078) 261-7806 〒651-8585 神戸市中央区臨浜海岸通2-2-4

Tel (03) 5739-6561 Fax (03) 5739-6966 〒141-8688 東京都品川区北品川5-9-12

大阪支社
名古屋支社
北海道支店
東北支店
新潟支店
北陸支店
四国支店
中国支店
九州支店
沖縄支店

Tel (06) 6206-6111 Fax (06) 6206-6101 〒541-8536 大阪市中央区備後町4-1-3(御堂筋三井ビル2階)

Tel (052) 584-6111 Fax (052) 584-6105 〒451-0045 名古屋市西区名駅2-27-8(名古屋プライムセントラルタワー15階)

Tel (011) 261-9331 Fax (011) 251-2533 〒060-0004 札幌市中央区北四条西5-1-3(日本生命北門館ビル4階)

Tel (022) 261-8811 Fax (022) 261-0762 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-2-25(仙台NSビル5階)

Tel (025) 245-8681 Fax (025) 243-1645 〒950-0087 新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命新潟ビル4階)

Tel (076) 441-4226 Fax (076) 442-4088 〒930-0858 富山市牛島町18-7(アーバンプレイス8階)

Tel (087) 823-7222 Fax (087) 823-7333 〒760-0017 高松市番町1-6-8(高松興銀ビル5階)

Tel (082) 258-5301 Fax (082) 258-5309 〒730-0036 広島市中区袋町4-25(明治安田生命広島ビル11階)

Tel (092) 431-2211 Fax (092) 432-4002 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街1-1(新幹線博多ビル6階)

Tel (098) 866-4923 Fax (098) 869-6185 〒900-0006 那覇市おもろまち1-3-31 (那覇新都心メディアビル西棟9階)

国内 ~~海外~~ 視察、研修報告書

議員名 西本健治郎

費目	調査研究費	整理番号	9	
視察・研修の目的	都道府県議会議員研究交流大会			
年月日	平成30年11月13日(火)から平成30年11月14日(水)			
場所	東京 都市センターホテル			
相手先	全国都道府県議会議長会			
行程	H30.11.13 自宅出発～山口宇部空港から羽田空港～都市センターホテル (13:30～17:50)～赤坂グランベルホテル H30.11.14 赤坂グランベルホテル～羽田空港から山口宇部空港～帰途			
内容・結果等	別添のとおり			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	旅費	32,700	32,700	宿泊費・航空賃
	《合計》	32,700	32,700	
按分割合積算根拠	※32,700×10/10=32,700			

- 注) 1 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修について本報告書を作成すること
 2 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること
 3 パック料金を利用した場合は、経費内訳の内容欄に、交通費、宿泊費等の項目内訳を記入すること

領収書等添付票

費目	調査研究費	整理番号	9-1
【領収書その他の書面の添付欄】			

Rakuten 領収書
Travel

No.RDP20182335064-01

西本健治郎様

発行日 : 2018-10-12

お名前 : 西本 健治郎
ご利用金額 : 32,700円
但 : 旅行代金として
支払い方法 : クレジットカードにてお支払い
決済日 : 2018-10-11

旅行内容

代表者 : にしもとけんじろう
予約番号 : RJ52458402390768501
利用航空会社 : 日本航空
旅行開始日 / 旅行終了日 : 2018-11-13 / 2018-11-14
申込人数 : 1人(大人:1人)
ホテル名 / チェックイン日 : 赤坂グランベルホテル / 2018-11-13
部屋タイプ / 部屋数 : 喫煙ダブル 【バスタブ無/軽朝食サービス】 / 1部屋

利用明細

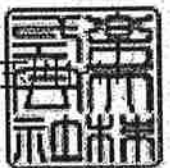
大人 : 32,700円 × 1人
旅行代金合計金額 : 32,700円

楽天株式会社


〒158-0094 東京都世田谷区

楽天クリムゾンハウス

<http://travel.rakuten.co.jp/>



ご利用ありがとうございました。



都道府県 議会議員 研究交流 大会 第18回

平成30年

11月13日(火)

午後1時30分～

午後5時50分

交流会：午後6時～午後7時

都市センターホテル

議会人の、
議会人による、
議会人のための
研究集会

**真の地方自治を
目指して**

主催：全国都道府県議会議長会
後援：総務省

第18回 都道府県議会議員研究交流大会

開催趣旨

都道府県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行うとともに、大会参加を通じて議員間の一層の連携を深め、もって地方分権の時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的とする。

主催者あいさつ

全国都道府県議会議長会会長

柳居 俊学



我が国は、本格的な人口減少と高齢化社会を迎えようとしております。このような中で住民の暮らしと地域経済を守るためには、地方公共団体が様々な行政上の諸課題に的確に対応していく必要があります。持続可能で質の高い行政サービスを提供するためにも、二代表制の一翼を担う地方議会が、これまで以上に政策立案機能、監視機能を十分に発揮し、行政に関与していく必要があります。

これまでの延長線上にある発想を転換し、65歳以上の人口がピークを迎える近未来の状況を念頭に、今後、地方がいかに戦略的に対応していくか、我々地方議会議員に課せられた使命は極めて重要であります。

各地域の置かれている状況は様々であり、厳しい未来であればあるほど多様できめ細かな行政が必要ですが、今回は迫り来る危機への共通認識を醸成していただくため「自治体戦略2040年構想と地方自治」と題する基調講演を聴取することとしております。

また、各分科会では、地方議会の基本的機能の強化に加え、広報・情報発信や地域医療・介護の将来像などについて討議を行います。この大会はご出席の議員各位が主役であります。皆様の日頃の思いを積極的にご披露いただき、今後の活動の大きな糧としていただければ幸いに存じます。

プログラム

13:30

3F
コリス
ホール

開 会

13:40

基調講演

自治体戦略2040年構想と地方自治



牧原 出 氏

東京大学先端科学技術研究センター教授

1967年愛知県生まれ。東京大学法学部卒業。専門は、史料の分析とオーラル・ヒストリーに基づいた政治学・行政学研究。学術博士。東京大学法学部助手、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス客員研究員、東北大学大学院法学研究科教授を経て、2013年4月より現職。第4・5次国地方係争処理委員会委員、第32次地方制度調査会委員等を務める。

15:10

休 憩

15:30

6F
会議室
606

第1分科会 政策立案機能の強化

議会からの政策提案の強化が求められ、議員や委員会の条例発議が活発化しているが、その事例紹介を踏まえ、今後の政策立案機能強化の手法や課題について考える。

コーディネーター

勢一 智子 氏

西南学院大学法学部教授



九州大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。西南学院大学法学部助教授等を経て、2007年より現職。専門は、行政法、環境法、地方自治法。日本自治学会理事。第31次・32次地方制度調査会委員、地方分権改革有識者会議議員、福岡県行政改革審議会委員なども務める。

パネリスト

池本 敏朗 氏

岡山県議会議員



自由民主党岡山県議団所属。2007年から岡山県議会議員(3期目)。土木委員会委員長、地域振興・防災・環境対策特別委員会委員長、監査委員を歴任。現在、産業労働警察委員会委員長。

藤曲 敬宏 氏

静岡県議会議員



自由民主党所属。熱海市議会議員(2期)を経て、2015年から静岡県議会議員(1期目)。2017年、手話言語条例検討委員会副委員長。現在、建設委員会副委員長、水産振興条例案検討委員会委員。

第2分科会 行政監視機能の強化

首長と議会が向き合う二元代表制において、議会がどのような監視機能を果たすべきか、果たしうるか、チェック機能のあり方と具体的な手法について考える。

コーディネーター

谷口 尚子 氏

慶應義塾大学大学院准教授



慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、博士(法学)。日本政治学会理事。第31・32次地方制度調査会委員。内閣府地方分権改革有識者会議議員。

パネリスト

近藤 健一郎 氏

秋田県議会議員



自由民主党所属。秋田県職員、秋田県森吉町長を経て、2007年から秋田県議会議員(3期目)。同県議会副議長を経て、現在、議会運営委員会委員長、産業観光委員会委員。

田中 宏典 氏

福井県議会議員



県会自民党所属。高浜町議会議員を経て、2010年8月から福井県議会議員(3期目)。厚生常任委員会委員長、総務教育常任委員会委員長を歴任。

第3分科会 住民との関係強化

民意の的確な反映・住民参加の拡充が求められており、住民との関係強化に向けた具体的な取組を踏まえ、住民代表機能強化の方法について考える。

コーディネーター

牛山 久仁彦 氏

明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授



中央大学法学部法律学科卒業。明治大学大学院等を経て現職。日本学術会議連携会員、日本政治学会理事、日本行政学会理事。神奈川県総合計画審議会副会長、埼玉県行政不服審査会委員等を務める。

パネリスト

永井 学 氏

山梨県議会議員



自由民主党所属。2011年4月から山梨県議会議員(2期目)。現在、農政産業観光委員会委員。ミナラルウォーター税導入に関する政策提言案作成委員会委員。

渡辺 創 氏

宮崎県議会議員



会派県民連合宮崎所属。毎日新聞社入社後、横浜支局、東京本社編集局政治部勤務を経て2011年から宮崎県議会議員(2期目)。現在、文教警察企業常任委員会委員長。

第4分科会 広報・情報発信

透明性の確保や説明責任を果たす観点から各種メディアを活用して議会広報が充実されつつあるが、更に積極的な情報発信やマスコミ対応のあり方などについて考える。

コーディネーター

江藤 俊昭 氏

山梨学院大学大学院研究科長



中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学、博士。地域政治論、三重県議会改革諮問会議会長、第29次・第30次地方制度調査会委員、総務省「町村議会のあり方に関する研究会」委員等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「報酬等に関する研究会」委員長、議会サポーターアドバイザー(栗山町、芽室町、滝沢市、山岡小野田市)。

パネリスト

高橋 しんご 氏

兵庫県議会議員



自由民主党所属。2007年から兵庫県議会議員(3期目)。2017年6月から2018年6月まで同県議会副議長(第125代)及び広報委員長。現在、総務常任委員会委員。

原井 敬 氏

徳島県議会議員



徳島県議会自由民主党所属。2015年から徳島県議会議員(1期目)。2017年は文教厚生常任委員会委員長。2018年は次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会委員長、徳島県議会政策条例検討会議委員。

第5分科会 地域医療・介護の将来像

医療制度改革が進行し、都道府県の役割が増大することから、地域医療・介護の将来像と議会が果たすべき役割について考える。

コーディネーター

島崎 謙治 氏

政策研究大学院大学教授



東京大学教養学部卒業、厚生労働省保険局保険課長、国立社会保障・人口問題研究所副所長等を経て、2007年から現職。博士(商学)。社会保障審議会医療部会委員、長野県立病院機構理事、日本医療・病院管理学会評議員等を務める。

パネリスト

五十嵐 務 氏

富山県議会議員



自由民主党富山県議会議員会所属。2003年より富山県議会議員(4期目)。経営企画委員長、副議長等を務め、現在、厚生環境委員会委員、富山県監査委員。

中島 謙二 氏

島根県議会議員



自由民主党島根県議会議員連盟所属。2007年から島根県議会議員(3期目)。現在、文教厚生委員会委員長、議会運営委員会副委員長、地方創生・行財政改革調査特別委員会委員。

17:50

18:00

19:00

5F
オリオン

休憩

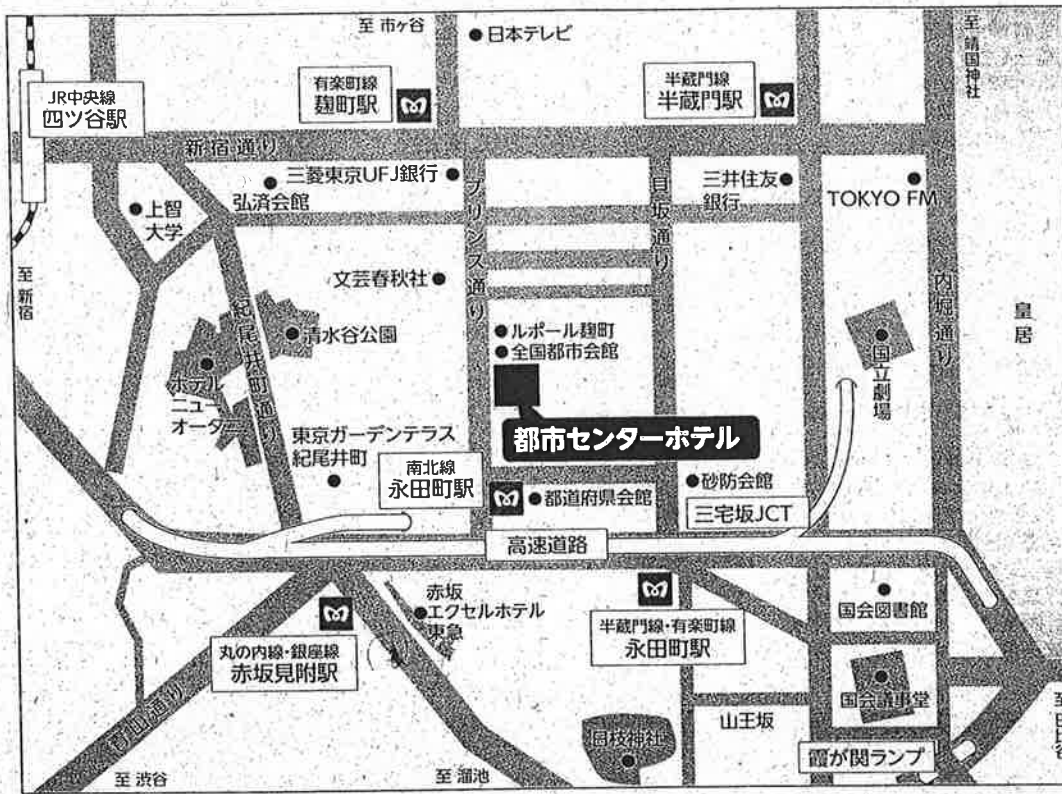
交流会

閉会

会場案内

都市センターホテル (日本都市センター会館内)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1 tel.03-3265-8211 fax.03-3262-1705



アクセス

- 東京メトロ有楽町線
麹町駅半蔵門方面より
徒歩4分
- 東京メトロ有楽町線・半蔵門線
永田町駅4番5番出口より
徒歩4分
- 東京メトロ南北線
永田町駅9番出口より
徒歩4分
- 東京メトロ丸の内線・銀座線
赤坂見附駅より
徒歩8分
- JR四ツ谷駅
麹町口より
徒歩15分

ホテル内フロア案内

3F	5F	6F	7F
<p>エレベーター</p> <p>コスモスホール</p>	<p>エレベーター</p> <p>会議室 菊 花 蘭</p> <p>会議室 スバル</p>	<p>エレベーター</p> <p>会議室 601</p> <p>会議室 606</p>	<p>エレベーター</p> <p>会議室 701</p> <p>会議室 706</p>
<p>講演会 コスモスホール</p> <p>第5分科会 コスモスホール</p>	<p>交流会 会議室オリオン</p> <p>モニター中継 会議室スバル</p>	<p>第1分科会 会議室606</p> <p>第3分科会 会議室601</p>	<p>第2分科会 会議室701</p> <p>第4分科会 会議室706</p>

お問い合わせ先

全国都道府県議会議長会総務部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館5階

TEL. 03-5212-9155 FAX. 03-5212-9159

E-mail:webmaster@gichokai.gr.jp URL:http://www.gichokai.gr.jp

費目別支出内容一覧表

議員名 西本健治郎

費目	調査研究費・ 研修費 会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費		整理番号	/
事業内容	日本会議			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	日本会議年会費	12,000	12,000	11/30
		《合計》	12,000	12,000
按分割合 積算根拠	12,000×10/10=12,000			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	研修費	整理番号	1-1
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

領 収 証 西 本 健 治 郎 様 No. _____

★ ￥ 1 2, 0 0 0 ※

但 平成30年度会費として

平成 30年 11月 30日 上記正に領収いたしました

内 訳

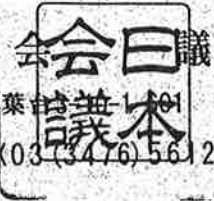
税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-55

収 入
印 紙

日 本



〒153-0042東京都目黒区青葉台1-10-1
TEL03(3476)5611FAX03(3476)5612

費目別支出内容一覧表

議員名 西本健治郎

費目	調査研究費・研修費・ <u>会議費</u> ・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費			整理番号	/
事業内容	県政報告会				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	県政報告会 資料コピー代	200	200	11月11日	
	県政報告会 資料コピー代	200	200	11月24日	
	県政報告会 吉見公民館会場料	2,260	2,260	11月25日	
	県政報告会 吉母公民館会場料	1,520	1,520	1月11日	
	県政報告会 安岡公民館会場料	2,310	2,310	1月13日	
	県政報告会 川中公民館会場料	1,520	1,520	1月15日	
	県政報告会 王司公民館会場料	1,060	1,060	1月19日	
	県政報告会 内日公民館会場料	2,360	2,360	1月19日	
	県政報告会 勝山公民館会場料	1,230	1,230	1月20日	
	県政報告会 彦島公民館会場料	1,120	1,120	1月20日	
	県政報告会 勤労青少年ホーム会場料	300	300	(1月22日実施)1/4	
	県政報告会 勤労青少年ホーム暖房料	300	300	1月22日	
	県政報告会 菊川ふれあい会館会場料	2,260	2,260	2月12日	
	県政報告会 下関市商工会会場料	1,500	1,500	2月12日	
	県政報告会 西部公民館会場料	1,380	1,380	2月22日	
	県政報告会 北部公民館会場料	930	930	2月26日	
	県政報告会 長府公民館会場料	1,020	1,020	2月28日	
	《合計》	21,470	21,470		
按分割合 積算根拠	21,470×10/10=21,470				

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-1
【領収書その他の書面の添付欄】			
領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。			

領 収 証 両本HWC33 様 No.

★ 260 -

内 訳	目	収入印紙
現金	30年11月11日 正記正に領取いたしました	
小切手	/	
手形	/	
消費税額等(%)		

吉見地区自治連合会
会長 梅尾 俊

吉見地区自治連合会

領 収 証 西本HWC33 様 No.

★ 200 -

内 訳	目	収入印紙
現金	280 - 代 430年11月20日 正記正に領取いたしました	
小切手	/	
手形	/	
消費税額等(%)		

吉見地区自治連合会
会長 梅尾 俊

吉見地区自治連合会

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-2
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

西本けんじろう事務所 領 収 書 No. 648322

西本健治郎 様

正

金	十	万	千	百	十	円
			2	2	6	0

内訳	室使用料	2,260	円
	冷暖房料		円
	料理台料		円
			円
			円
	計	2,260	円

講堂(室使用料) 11/25分
上記の金額を領収しました。

平成 年 月 日



香見 公民館

下関市(分任)出納員

大西義夫

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

西本健治郎事務所 領 収 書 No 607303

(正)

代表 西本健治郎 様

1/11 講堂

金	十	万	千	百	十	円
	7	1	5	2	0	

内訳	室使用料	1020+200	1,220円
	冷暖房料	@300×1H	300円
	料理台料		円
			円
			円
	計		1,520円

上記の金額を領収しました。

平成 13年 1月 11日



吉母 公民館

下関市 (分任) 出納員 橋本京子 (印)

西本健治郎事務所 領 収 書 No 660333

(正)

代表 西本健治郎 様

金	十	万	千	百	十	円
	7	2	3	1	0	

内訳	室使用料	1,850+460	2,310円
	冷暖房料		円
	料理台料		円
			円
			円
	計		2,310円

講堂 上記の金額を領収しました。

平成 年 月



安岡 公民館

下関市 (分任) 出納員 藤原節子 (印)

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-4
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

西本健治郎事務所領 収 書 No 659411

(正)

代表 西本健治郎 様

金	十	万	千	百	十	円
		¥	1	5	2	0

1/15 視

内訳	室使用料	1,220	円
	冷暖房料	300×H=300	円
	料理台料		円
			円
			円
	計	1,520	円

上記の金額を領収しました



平成 年 月 日

川中 公民館

下関市 (分任) 出納員 小田祥一郎

西本健治郎事務所領 収 書 No 658187

(正)

代表 西本健治郎 様

金	十	万	千	百	十	円
		¥	1	0	6	0

1/19 研修室

内訳	室使用料	260	円
	冷暖房料	h 300	円
	料理台料		円
			円
			円
	計	1,060	円

上記の金額を領収しました



平成 年

王 司 公民館

下関市 (分任) 出納員 山根美穂

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-5
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

領 収 書 No. 642554

西本健治郎事務所
代表 西本健治郎 様

正

金	十	万	千	百	十	円
		9	2	3	6	0

講堂

内訳	室使用料	1,850円
	冷暖房料	1H 510円
	料理台料	円
		円
		円
	計	2,360円

上記の金額を領収しま

平成 年 月



内日 公民館

下関市 (分任) 出納員 山本沙織

領 収 書 No. 665077

西本健治郎事務所
代表 西本健治郎 様

正

金	十	万	千	百	十	円
		7	1	2	3	0

1/20 第2研修室

内訳	室使用料	930円
	冷暖房料	@300x1H = 300円
	料理台料	円
		円
		円
	計	1,230円

上記の金額を領収

平成 年 月



勝山 公民館

下関市 (分任) 出納員 平井希

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-6
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

西本健治郎事務所 領 収 書 No 663255
 代表西本健治郎 様

Ⓢ

金	十	万	千	百	十	円
		¥	1	1	20	

内訳

室使用料		820円
冷暖房料	1H	300円
料理台料		円
		円
		円
計		1120円

1,200円

上記の金額を領収しました。

平成 年 月



彦島 公民館

彦島市 (分任) 出納員 岡村 祐子

Ⓢ

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-7
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

領 収 証

西本健治郎事務所 西本健治郎 様 No. 980

★

300-

但

室料にて

31年 1月 4日 上記正に領収いたしました

内 訳

下関市豊浦勤労青少年ホーム

税抜金額

下関市分任出納員

消費税額等(%)

取 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

寺内 環



領 収 証

西本健治郎事務所 西本健治郎 様 No. 1043

★

300-

但

暖房料にて

31年 1月 22日 上記正に領収いたしました

内 訳

下関市豊浦勤労青少年ホーム

税抜金額

下関市分任出納員

消費税額等(%)

取 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

江原 恒男



領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-8
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

領 収 書

No. 668029



西本健治郎事務所 様

金	十	万	千	百	十	円
		¥	2	2	6	0

内訳	室使用料	2,260	円
	冷暖房料		円
	料理台料		円
			円
	計	2,260	円

上記の金額を領収しました。

平成31年 2月 12日

公民館 下関市菊川分任出納員 領収印 608

下関市 (分任) 出納員 内藤 裕

領 収 書

平成31年 2月 12日

下関市商工
山口県下関市豊浦町大字吉永
TEL (083) 772-0625



西本健治郎事務所 様

金額	千	円
	¥	1,500

但し 会場使用料として (2/1使用分)

上記正に領収しました

現金 _____
小切手 _____

発	本所	
	豊浦町支所	TEL (083) 772-0625
	菊川町支所	TEL (083) 287-0204
行	豊田町支所	TEL (083) 766-1119
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊北町支所	TEL (083) 782-0147



収入
印紙

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-9
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

西本健治郎事務所

領 収 書

№ 671031

正

代表 西本健治郎 様

金	十	万	千	百	十	円
		¥	1	3	8	0

2/22

上記の金額を領収しました。

平成 年 月 日

関
下分任出納員市
31.2.22
領収印 西部 公民館
651

第1
研修室

内訳	室使用料	780×1=780	円
	冷暖房料	300×2H=600	円
	料理台料		円
			円
	計	1380	円

下関市 (分任) 出納員 山本桂子

西本健治郎事務所

領 収 書

№ 663976

正

西本健治郎 様

金	十	万	千	百	十	円
			4	9	3	0

上記の金額を領収しました。

平成 年 月 日

関
下分任出納員市
31.2.26
領収印 北部 公民館
600

視聴覚室 2/26

内訳	室使用料	780	円
	冷暖房料	150×1H=150	円
	料理台料		円
			円
	計	930	円

下関市 (分任) 出納員 早川 薫

領収書等添付票

費目	会議費	整理番号	1-10
----	-----	------	------

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

領 収 書

№ 666291

(正)

西本健治郎事務所
代表 西本健治郎 様

3研

金		十	万	千	百	十	円
		7	1	0	2	0	

内訳

室使用料	1,020 円
冷暖房料	円
料理台料	円
	円
	円
計	1,020 円

上記の金額を納付しました。

平成



日

長 府 公民館

下関市 (分任) 出納員

山崎 政美 (印)

費目別支出内容一覧表

議員名 西本健治郎

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費			整理番号	/
事業内容	新聞購読料				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	朝日新聞	39,744	39,744	3,312円/月×12ヶ月	
	山口新聞	32,460	32,460	2,705円/月×12ヶ月	
		《合計》	72,204	72,204	
按分割合 積算根拠	72,204×10/10=72,204				

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例:ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	資料費	整理番号	1-1
【領収書その他の書面の添付欄】			
領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。			

30年4月分 領収証 462

吉見本町1-3-29 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
5月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年7月分 領収証 459

吉見本町1-3-29 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
8月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年5月分 領収証 467

吉見本町1-3-29 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
6月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年8月分 領収証 459

吉見本町1-3-29 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
9月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年6月分 領収証 469

吉見本町1-3-29 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
7月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年9月分 領収証 451

吉見本町1-3-29 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
10月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

領収書等添付票

費目	資料費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。			

30年10月分 領収証 446
 吉見本町1-3-29
 西本 健治郎 様

31年1月分 領収証 414
 吉見本町1-3-29
 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
 11月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
 2月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年11月分 領収証 435
 吉見本町1-3-29
 西本 健治郎 様

31年2月分 領収証 410
 吉見本町1-3-29
 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
 12月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
 3月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年12月分 領収証 439
 吉見本町1-3-29
 西本 健治郎 様

31年3月分 領収証 230
 吉見本町1-3-29
 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
 1月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

銘柄名	部数	金額	合計
朝日新聞朝刊	1	3,312	3,312 円

上記の金額正に領収致しました。
 4月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

領収書等添付票

費目	資料費	整理番号	1-3
【領収書その他の書面の添付欄】			
領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。			

30年4月分 領収証 459
 吉見本町1-4-6
 西本 健治郎 様

30年7月分 領収証 456
 吉見本町1-4-6
 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
 5月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
 8月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年5月分 領収証 464
 吉見本町1-4-6
 西本 健治郎 様

30年8月分 領収証 456
 吉見本町1-4-6
 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
 6月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
 9月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年6月分 領収証 466
 吉見本町1-4-6
 西本 健治郎 様

30年9月分 領収証 448
 吉見本町1-4-6
 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
 7月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
 10月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
 〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
 TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
 朝日新聞
 サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

領収書等添付票

費目	資料費	整理番号	1-4
【領収書その他の書面の添付欄】			
領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。			

30年10月分 領収証 443

吉見本町1-4-6 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
11月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞
サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

31年1月分 領収証 411

吉見本町1-4-6 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
2月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞
サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年11月分 領収証 432

吉見本町1-4-6 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
12月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞
サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

31年2月分 領収証 407

吉見本町1-4-6 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
3月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞
サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

30年12月分 領収証 436

吉見本町1-4-6 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
1月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞
サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

31年3月分 領収証 227

吉見本町1-4-6 西本 健治郎 様

銘柄名	部数	金額	合計
山口新聞	1	2,705	2,705 円

上記の金額正に領収致しました。
4月5日領収

ASA 朝日新聞サービスアンカー安岡
〒759-6603 下関市安岡町1-1-13
TEL 083(258)0534 FAX 083(258)0545

ASA 領収印
朝日新聞
サービスアンカー

毎度ご購入ありがとうございます。

費目別支出内容一覧表

議員名 西本健治郎

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	2	
事業内容	書籍購入費			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	下関市職員録	1,500	1,500	9/1
		《合計》	1,500	1,500
按分割合 積算根拠	1,500×10/10=1,500			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	資料費	整理番号	2-1
【領収書その他の書面の添付欄】 領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。			

領 収 証

No.

様

★ 7,1500-

但 職員録1冊

年 9 月 1 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

下関市職員OB親和会

会長 吉川宗利

費目別支出内容一覧表

議員名 西本健治郎

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 ○ <u>広報費</u> ・事務所費・事務費・人件費		整理番号	/
事業内容	広報資料 制作料 30年度くらしと県政			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	30年度くらしと県政	30,000	30,000	5/1 500部
	発送用封筒500部	4,540	4,540	5/11
	郵送料492通	36,900	36,900	5/22
		《合計》	71,440	71,440
按分割合 積算根拠	71,440×10/10=71,440			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-1
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。

ご利用明細



毎度、山口銀行をご利用いただきありがとうございます。
 ただいまお取引いただきました明細は下記のとおりでございます。

お取扱日		お取引内容	
30-05-01		お支払 IC	
取扱い店番号	取引銀行番号	取引店番号	口座番号
011			
お取引金額			
5215703		¥30,000	
コード	時刻	お取引後残高	
	1223		
(ご案内)	取引随番	手数料	おつり
	0119	¥0	

お振込内容

カ) マルニ 様へ

ご依頼人
 ニシモト ケンジロウ 様

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】 領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。			

領 収 証

西本健治郎

様

平成 30 年 5 月 11 日

¥4,540

但し 角A4封筒500枚
上記の金額正に領収いたしました

TRADE MARK

封筒・名刺・案内状の
月印紙製

535-0031 大阪市旭区高殿 7-
TEL・FAX: 06-6955-630
E-mail: crescent_admin@le-yamaga.jp



領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-3																																				
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <p>領収書等に宛名の無いものは西本健治郎宛てに相違ありません。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> <h3>領収書</h3> <p>毎度ありがとうございます。</p> <p>西本健治郎事務所 様</p> </div> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">【別納引受】</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ゆうメール特別</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">@75</td> <td style="text-align: right;">100g 492通</td> <td style="text-align: right;">県外</td> <td style="text-align: right;">¥36,900</td> </tr> <tr> <td colspan="3">小計</td> <td style="text-align: right;">¥36,900</td> </tr> <tr> <td colspan="2">課税計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">¥36,900</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(内消費税等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">¥2,733)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非課税計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">¥0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">¥36,900</td> </tr> <tr> <td colspan="2">お預り 現金</td> <td></td> <td style="text-align: right;">¥36,900</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin: 20px 0; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 印紙税申告納付につき廻町税務署承認済 </div> <p style="margin-top: 20px;"> 〒100-8798 日本郵便株式会社 東京都千代田区霞が関1-3-2 取扱日時：2018年 5月22日 14:47 担当 XXXXXXXXXX 発行No. 180522K4166 端211037492 連絡先：下関東郵便局 TEL: 083-253-3409 </p>				【別納引受】				ゆうメール特別				@75	100g 492通	県外	¥36,900	小計			¥36,900	課税計			¥36,900	(内消費税等			¥2,733)	非課税計			¥0	合計			¥36,900	お預り 現金			¥36,900
【別納引受】																																							
ゆうメール特別																																							
@75	100g 492通	県外	¥36,900																																				
小計			¥36,900																																				
課税計			¥36,900																																				
(内消費税等			¥2,733)																																				
非課税計			¥0																																				
合計			¥36,900																																				
お預り 現金			¥36,900																																				